

ちょう かん
国際交流員 趙 鑑 通信
你好! ニイハオ!
(中国語で「こんにちは」)

冬至の日

問合先 自治振興課

中国の冬至は旧暦の11月です(日本の12月中旬)。中国では重要な節で、冬至節とも呼びます。古代中国では、より大きな祭りともなされました。「冬至は新年と同じく重要」と言って、冬至を祝う習慣がたくさんあります。



▶冬至に食べる
羊の丸焼き



▶冬至に
家族と食べた料理

【餃子を食べる】

「冬至、すべての家庭が餃子を食べる」という古い言葉があります。冬至に餃子を食べることが不可欠な習慣であることがわかります。何故でしょう?以前、ある医者が冬至に都市を訪れた時、市民の耳が赤く凍っているのを見ました。その後、彼は人びとに羊肉を作るように言って、パンにそれを入れて食べさせました。食べると体全体が温かくなり、耳も熱くなって、凍傷が治癒しました。後に、「耳」の形に作られたパンは「餃子」と呼ばれるようになりました。

最近、冬至には、中国北部では餃子を食べ、南部では羊の丸焼きを食べます。冬至の朝、田舎の店に行って羊を注文し、店の人は一日かけて調理をします。私は仕事が終わってから親しい友達と一緒に店へ行き、羊の丸焼きを食べます。一緒にビールを飲めば、一日の疲れも消えて、非常に快適です。

【礼拝を行う】

多くの地域では、冬至の日に先祖を崇拝する習慣がありますが、冬至の祭りを祝う場所はまだまだあります。私の家庭は戸棚から家系図や先祖の写真などを取り出し、テーブルの上に置いて、来年の天気の良い日を祈り、家族の健康を祈ります。その後、家族全員でレストランに行って、食事をします。



◀国際交流員の
趙 鑑

今月の中国語

冬至(ドン ズ): 冬至
羊(ヤン): 羊
汤圆(タン エン): 団子

市民公益活動団体紹介

市民のみなさんが積極的にボランティア活動やNPO活動に取り組むことができるよう、市に登録された市民公益活動団体の情報を掲載しています。

みんなのまちづくり隊

私たち、みんなのまちづくり隊の5つのコンセプトは、健康・手づくり・文化芸術・サステイナブル・体験です。私たちが、大木地区で活動し始めた理由の1つに、オーガニックタウン構想(Organic town idea)があります。単なる健康なまちだけではなく、衣・食・住の本質と根本を知り、考えた上で、そのまちに合うものを、また一度きり、使い捨てではなく、持続可能性を追求したものを、再利用も有効的に活用できるもの、を増やしたい。オーガニックな生き方・暮らし方をしたいと願っている人々が泉佐野市大木に集い、生産者・消費者・企業・環境団体など市民の立場から分け隔てなく、交流しあえる場づくりを目指しています。

今年はその第一歩として、10月27日に第5回目となるおさんぽカフェをオーガニックにこだわったコンセプトで開催し、多くの人の笑顔と癒しを生み出すことができました。

【みんなのまちづくり活動への参加のお願い】

●実らせ隊:年会費101,000円、「田植え体験・稲刈り体験の1人無料優待券&収穫した大木米のかわいいキューブ1個」を贈呈します。※特典は口数に比例
●応援隊:私たちが展開するプロジェクトのサポートをお願いします!(カフェ、田植え、稲刈り、広報活動など)

●広報支援隊:Facebookページ(<https://www.facebook.com/minmach2016/>)の活動を閲覧いただく形での参加も大歓迎です!

問合先 みんなのまちづくり隊
(隊長 袋谷幸宏 eメール: minmach2015@gmail.com)



▲Facebook
QRコード



問合先 自治振興課

※市民公益活動団体については、市のホームページ(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)をご覧ください。